ミュージアム・レター

Gakushuin University
Museum of History

Museum Letter No.4

発行日 ● 平成19年(2007)5月25日

もくじ

ごあいさつ ……1
「新収資料　高松宮家展」好評開催中 ……1
学習院の愛馬「乃木号」 ……2
好評！「キャンパスまるごとミュージアムツアー」 ……3
お知らせ ……4

学習院大学史料館第27回特別展
「新収資料　高松宮家展」
会期：2007年4月7日(土)～6月9日(土)
開室時間：平日12:00～17:00、土曜日10:00～12:00
日曜日・祝日・5月15日(火)は閉室
会場：学習院大学史料館展示室(北2号館1階)　入場無料
協力：(財)高松宮妃癌研究基金

1.ごあいさつ

現在、学習院大学史料館では、平成19年度特別展覧会「新収資料　高松宮家展」を開催しております。学習院の歴史や普段あまり目にすることがない宮家の生活についての展示で、多数の方のご来館をいただいております。

本ミュージアム・レター第4号では、この特別展覧会の模様と当館の収蔵資料、学習院大学のキャンパスについてご紹介いたします。

本レターを通じて、当館の展示や活動を身近に感じていただければ幸いです。　(館長　神田龍身)

2.「新収資料 高松宮家展」好評開催中！

本展覧会は、学外の方々はもちろん、学習院の新入学生やその保護者、卒業生の方にもご覧いただきたいという気持ちから、大学入学式とオール学習院の集いに合わせ、特別開室を行いました。

春の暖かな日差しと桜の舞う美しい季節、そして緑豊かな学習院のキャンパス。恵まれた環境の中で、期待と思い出を語らいながら、本展覧会を多数の方々にご観覧いただけましたことをたいへんうれしく思っております。

本展覧会は6月9日(土)まで開催中です。皆様のご来館をお待ちしております。

観覧中の様子

ドレスなどの陳列風景

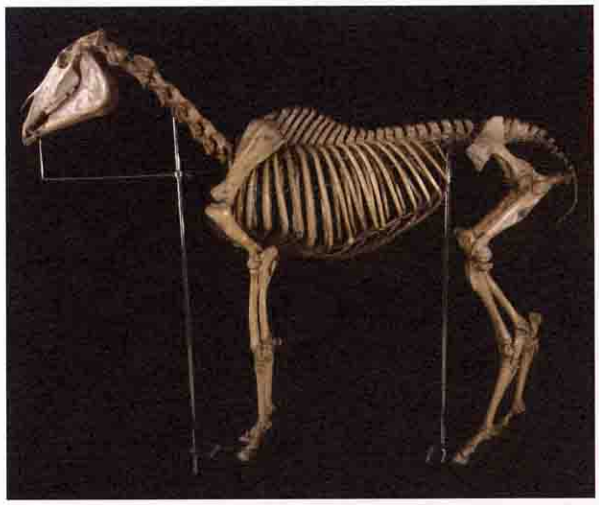
ガイダンスへ向かう新入生

3. 学習院の愛馬「乃木号」

学習院大学史料館の収蔵史料の中でひときわ大きく、そして異彩を放つのが馬の骨格標本「乃木号」です。乃木号はその名の通り、学習院院長乃木希典ゆかりの馬です。日露戦争旅順攻略後の会見（明治38年〈1905〉）でロシアのステッセル将軍から乃木陸軍大将へ贈られた馬（寿号（すごう））を父とし、体高約145センチで、多くの兄弟のうち最も寿号に似ていたと伝えられています。乃木院長死去後も学習院の厩舎で馬術練習用に飼育され、昭和12年（1937）8月に27歳で死ぬまで、「のぎさん」の愛称で親しまれていました。現在、キャンパスの馬場北側に乃木号を偲ぶ石碑がたっています。

卒業生の話では、かつて骨格標本「乃木号」はカーテン付のケースに入っていて、展示する際には恭しくそれを開けていたそうです。カーテンの奥にちょっと神秘的にたたずんでいたという感じでしょうか。今では新調されたケースの中で、まさに「由緒正しい馬の骨」らしくその勇姿を示しています。

（野尻泰弘）



乃木号骨格標本

ありし日の乃木号

乃木號碑

4. 好評！
「キャンパスまるごとミュージアム」ツアー

当館では、「キャンパスまるごとミュージアム」ツアーを開催しており、皆様からご好評をいただいています。

これは、100年近い歴史のある学習院目白キャンパス全体を博物館にみたて、建物や史跡、動植物までも博物館資料として紹介しながら、緑溢れる20万m²のキャンパス内をウォーキングするツアーです。現在は当館で行われる博物館実習、学習院高等科の総合学習授業「博物館を知ろう！」で実施の他、一般の方々にも体験していただいています。皆様もぜひ歴史と緑ゆたかな学習院を散策してみませんか？（所要時間は30分から1時間）

＊お問い合わせ、お申込みは学習院大学史料館まで。なお、10名を超える団体の場合には学習院施設課への別途申込が必要となります。　（長佐古美奈子）

キャンパスまるごとミュージアムの ツアー例をご紹介

1．正門：明治41年（1908）の建築です

2．東別館：元は皇族寮として使用されていました

3．南１号館：理学部の建物、とても趣があります

4．榊壇：榊のまわりには大正当時の日本の国境から集められた石が積まれています

1．

2．

3．

4．

5.史料・図書閲覧のご案内

学習院大学史料館では、図書や史料を閲覧することができます。ここでは、閲覧利用についてご案内いたします。

① 図書の閲覧

・当館収蔵の図書を閲覧できます。図書は大学のOPACで検索することができます。
・図書の館外貸出は行っておりません。

② 史料の閲覧

・当館の収蔵史料で、目録が刊行されているものは原史料やマイクロフィルムを閲覧できます。
・史料の出納には時間がかかりますので、事前に閲覧希望リストをご提出ください。当日の出納がスムーズになります。
・撮影については、各史料群により対応が異なりますのでお尋ねください。
・史料によっては閲覧のご要望にそえない場合があります。ご了承ください。

③ 史料の掲載

・当館収蔵史料を出版物等に掲載する場合（翻刻掲載・撮影掲載）は、事前に許可申請手続きが必要です。お問い合わせください。

④ 閲覧申請と利用時間

・閲覧室スペースに限りがあるため、史料閲覧の際には事前申請をお願いしております。希望日の一週間前までに希望日時を電話でご連絡ください。
・図書閲覧は月～土曜まで、申請なしでご利用いただけます。
・利用時間は10時～16時30分（ただし12時～13時は昼休み）です。

大切な史料のために

・史料を扱う前には手を洗い、時計・指輪などをはずしてください。
・筆記用具は鉛筆・シャープペンシルを使ってください。
・史料を無理に広げたり、折り曲げたりしないでください。
・コピー機での史料の複写は行っていません。

史料はどれも世の中に一点だけの貴重なものです。閲覧利用のルールをお守りくださいますよう、皆様のご理解をお願い申し上げます。

ミュージアム・レター第4号
2007年5月25日発行
〒171-8588
東京都豊島区目白1-5-1
電話 03（3986）0221
内線 6569
FAX 03（5992）9219

Gakushuin University Museum of History
学習院大学史料館

● ホームページもご覧ください
http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua

6.刊行物と催し物のお知らせ

第53回 史料館講座

日本の伝統芸能である「能」に関する講演と実演を予定しています。

講師：能楽師　金春安明氏
日時：7月9日(月)18:30～20:00
会場：学習院創立百周年記念会館1階正堂
＊入場無料・事前申し込み不要です